

第144回 日商簿記検定試験 3級 一商業簿記一 解 説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問

- 販売した商品の返品は計上されている売上を取消し、掛代金から差し引くため、売掛金を減少させる。
- 当座預金口座開設時に当座預金口座への入金及び当座借越契約の担保として定期預金を行っているため、当座預金及び定期預金を計上し、普通預金口座からの預け入れであるため普通預金を減少させる。
- 消耗品の会計処理は購入時に資産として処理する方法と、費用として処理する方法の2つがある。本問においては、勘定科目一覧に消耗品勘定が存在しないため、消耗品費の発生として処理する。
- 債権が貸倒れ、手付金があるため、前受金を減少させ、差額を貸倒損失の発生として処理する。
- 掛代金の支払いを約束手形で行っているため、買掛金を減少させ支払手形を計上する。なお、その際に郵送代金を現金で支払っているため、通信費の発生として処理する。

第2問

固定資産の勘定の作成に関する問題である。減価償却費の月割計算及び当期取得分の固定資産に注意が必要となる。

- ア 円100,000＋円360,000＝円460,000
※ 備品Cは当期中に取得しているため含めない。
- イ 円180,000
- ウ A 円100,000×90%×3年（平成25年～平成27年）/5年＝円54,000
B 円360,000÷4か月（平成27年9月～平成27年12月）/4年＝円30,000
- エ A 円100,000×90%÷5年＝円18,000
B 円360,000÷4年＝円90,000
C 円180,000×11か月（平成28年2月～平成28年12月）/3年＝円55,000

第3問

合計試算表の作成に関する問題である。9月30日の合計額に10月中の取引を加味することにより10月31日の合計額を計算する。複式簿記は勘定の学問であるため、勘定記入面のみを示す。

現 金		普 通 預 金	
1日前月末合計	1,260,000	1日前月末合計	9,520,500
18日 普通預金	100,000	31日 売 掛 金	950,000
当月末合計	1,360,000	当月末合計	1,107,000

当 座 預 金		受 取 手 形	
1日前月末合計	1,576,000	1日前月末合計	1,700,000
6日 受取手形	492,000	20日 支 払 手 形	200,000
当月末合計	2,068,000	当月末合計	700,000

売 掛 金		仮 払 金	
1日前月末合計	9,800,000	1日前月末合計	120,000
3日 売 上	400,000	13日 現 金	30,000
14日 売 上	750,000	当月末合計	150,000
当月末合計	10,950,000	当月末合計	150,000

支 払 手 形		買 掛 金	
1日前月末合計	960,000	1日前月末合計	6,750,000
20日 当座預金	200,000	31日 普通預金	700,000
当月末合計	1,160,000	当月末合計	7,450,000

所 得 税 預 り 金		資 本 金	
1日前月末合計	27,500	1日前月末合計	300,000
11日 普通預金	4,000	28日 諸 口	32,000
当月末合計	31,500	当月末合計	332,000

売 上		仕 入	
	1日前月末合計	1日前月末合計	6,150,000
	3日 売 掛 金	12日 買 掛 金	275,000
	14日 売 掛 金	27日 支 払 手 形	560,000
	当月末合計	当月末合計	6,985,000

給 料		水 道 光 熱 費	
1日前月末合計	1,300,000	1日前月末合計	220,000
25日 諸 口	153,000	28日 普通預金	24,000
当月末合計	1,453,000	当月末合計	244,000

通 信 費		旅 費 交 通 費	
1日前月末合計	80,000	1日前月末合計	87,000
普通預金	8,000	17日 諸 口	34,000
当月末合計	88,000	当月末合計	121,000

広 告 宣 伝 費		支 払 手 数 料	
1日前月末合計	75,000	1日前月末合計	20,800
4日 普通預金	25,000	4日 普通預金	200
当月末合計	100,000	31日 普通預金	1,000
		当月末合計	22,000

租 税 公 課		修 繕 費	
1日前月末合計	110,000		
26日 現 金	3,000	4日 現 金	40,000
当月末合計	113,000		

手 形 売 却 損			
1日前月末合計	25,000		
6日 受取手形	8,000		
当月末合計	33,000		

第4問

伝票とは、取引の記録（仕訳）を行う紙片であり、仕訳帳の代わりに用いられるものである。また、仕訳日計表とは、1日分の伝票を集計する表であり（1週間分の伝票を集計する表は仕訳週計表、1ヶ月分の伝票を集計する表は仕訳月計表）、合計試算表の一種である。伝票の各勘定の金額を仕訳日計表に集計し、仕訳日計表から総勘定元帳に合計転記を行うことにより、転記の効率化を図ることができる。なお、各伝票の使用方法は下記のとおりである。

1. 入金伝票

入金取引を記入する伝票であり、仕訳上の借方が「現金」となる場合に用いる。入金伝票に記載される勘定科目は、仕訳上の貸方科目となる。したがって、当座預金は入金伝票には記載されない。

2. 出金伝票

出金取引を記入する伝票であり、仕訳上の貸方が「現金」となる場合に用いる。出金伝票に記載される勘定科目は、仕訳上の借方科目となる。したがって、当座預金は出金伝票には記載されない。

3. 振替伝票

入金伝票および出金伝票以外の取引を記入する伝票である。
以下、各伝票の仕訳を示す。

<入金伝票>

(借) 現	金	30,000	(貸) 売掛金 (札幌商店)	30,000	
(借) 現	金	40,000	(貸) 売	上	40,000

<出金伝票>

(借)	買	掛	金	23,000	(貸)	現	金	23,000		
(借)	買	掛	金	16,000	(貸)	現	金	16,000		
(借)	水	道	光	熱	費	9,000	(貸)	現	金	9,000

<振替伝票>

(借) 売掛金 (札幌商店)	80,000	(貸) 売	上	80,000
(借) 受取手形	24,000	(貸) 売掛金		24,000
(借) 仕入	53,000	(貸) 買掛金		53,000

(2) 札幌商店に対する売掛金残高
 $\text{¥}49,000 + \text{¥}80,000 - \text{¥}30,000 = \text{¥}99,000$

第5問

1. 現金実査

(借) 通	信	費	3,600	(貸) 現	金	4,000
(〃) 雑	損	400				

※ 現金： $\text{¥}564,000 - \text{¥}560,000 = \text{¥}4,000$
※ 雑損： $\text{¥}4,000 - \text{¥}3,600 = \text{¥}400$
▼ 通信費： $29,000$ （整理前T/B通信費） $+ \text{¥}3,600 = \text{¥}32,600$

2. 掛代金の回収

(借) 仮	受	金	67,000	(貸) 売	掛	金	67,000
-------	---	---	--------	-------	---	---	--------

▼ 売掛金： $\text{¥}867,000$ （整理前T/B売掛金） $- \text{¥}67,000 = \text{¥}800,000$

3. 修正仕訳

主たる商品売買以外の掛代金は未払金で処理する。

(借) 買	掛	金	360,000	(貸) 未	払	金	360,000
-------	---	---	---------	-------	---	---	---------

▼ 買掛金： $\text{¥}800,000$ （整理前T/B買掛金） $- \text{¥}360,000 = \text{¥}440,000$

4. 貸倒引当金の設定

(借) 貸倒引当金繰入	14,000	(貸) 貸倒引当金	14,000
-------------	--------	-----------	--------

※ 貸倒引当金繰入： $\text{¥}800,000$ （修正後売掛金） $\times 3\% - \text{¥}10,000$ （整理前T/B貸倒引当金） $= \text{¥}14,000$
▼ 貸倒引当金： $\text{¥}10,000$ （整理前T/B貸倒引当金） $+ \text{¥}14,000 = \text{¥}24,000$

5. 売上原価の算定

解答の便宜上売上原価勘定で売上げ原価の計算を行う。

(借) 売	上	原	価	3,473,000	(貸) 繰	越	商	品	273,000
					(〃) 仕			入	3,200,000
(借) 繰	越	商	品	189,000	(貸) 売	上	原	価	189,000

▼ 売上原価： $\text{¥}273,000$ （整理前T/B繰越商品） $+ \text{¥}3,200,000$ （整理前T/B仕入）
 $- \text{¥}189,000 = \text{¥}3,284,000$

6. 減価償却

(借) 減価償却費	80,000	(貸) 備品減価償却累計額	80,000
-----------	--------	---------------	--------

※ 減価償却費： $\text{¥}400,000 \div 5 \text{年} = \text{¥}80,000$
▼ 減価償却累計額： $\text{¥}160,000$ （整理前T/B備品減価償却累計額） $+ \text{¥}80,000 = \text{¥}240,000$

7. 家賃の繰延べ

(借) 前	払	費	用	80,000	(貸) 支	払	家	賃	80,000
-------	---	---	---	--------	-------	---	---	---	--------

※ $\text{¥}240,000 \times 2 \text{か月}$ （平成28年1月～平成28年2月） $\div 6 \text{か月} = \text{¥}80,000$
▼ 支払家賃： $\text{¥}560,000$ （整理前T/B支払家賃） $- \text{¥}80,000 = \text{¥}480,000$

8. 利息の見越し

(借) 支	払	利	息	3,000	(貸) 未	払	費	用	3,000
-------	---	---	---	-------	-------	---	---	---	-------

※ 支払利息： $\text{¥}600,000 \times 2\% \times 3 \text{か月} \div 12 \text{か月} = \text{¥}3,000$
▼ 支払利息： $\text{¥}9,000$ （整理前T/B支払利息） $+ \text{¥}3,000 = \text{¥}12,000$

9. 手数料の見越し

(借) 未	収	収	益	24,000	(貸) 受	取	手	数	料	24,000
-------	---	---	---	--------	-------	---	---	---	---	--------

▼ 受取手数料： $\text{¥}83,000$ （整理前T/B受取手数料） $+ \text{¥}24,000 = \text{¥}107,000$

10. 当期純利益

貸借差額により求める。